

技工物の製作場所・材質・価格調査

- **歯科技工物の製作場所は外注が半分以上を占めているが、歯科医師自ら製作している割合も25%超**となった。外注はインドなどの近隣国も範囲に入っており、歯科技工の推進は国内産業の強化にもつながると想定される。
- 歯科技工物の材質はメタルがメインというが、**今後質を求めポーセレンやセラミックなどの天然歯に近い素材へ変化していく**と想定される。
- 補綴物技工物の価格をまとめたが、**日本と比べ半分以下**となっている。制作費（人件費）が低いことがコストに反映しているため、日本製の質の高い材料を拡販する戦略が必要となる。

図表10 技工物の製作場所・材質・価格調査

技工物の製作場所

外注（歯科技工所）	157	68.0%
院内の歯科技工士	12	5.2%
歯科医師	62	26.8%

技工物の材質

ポーセレン	65	30.5%
メタル	128	60.1%
硬質レジン	10	4.7%
アクリルレジン	10	4.7%

技工物の価格と納期

	価格 (BDT)	JPY@1.22	納期 (日)
インレー	1,228	1,498	3.8
クラウン	1,244	1,518	3.9
ブリッジ	3,026	3,692	5.9
部分義歯	310	378	5.1
アクリル	331	404	
フレキシブル	4,041	4,930	
総義歯	7,575	9,242	13.4